

＝ 目 次 ＝

I. 世界集計編 \_\_\_\_\_ P.

II. 汎用機器70品目編 \_\_\_\_\_ P.

＜農林業機械＞ \_\_\_\_\_ P.

1. トラクター	_____ P.
2. 管理機 (エンジンタイプ)	_____ P.
3. ティラー	_____ P.
4. 耕耘機	_____ P.
5. 電動タイプ管理機	_____ P.
6. 田植機	_____ P.
7. バインダ	_____ P.
8. コンバイン	_____ P.
9. ハーベスタ	_____ P.
10. 可搬式動力噴霧機	_____ P.
11. 背負式動力噴霧機	_____ P.
12. バッテリー式動力噴霧機	_____ P.
13. 動力散布機	_____ P.
14. ハンマーナイフ式草刈機	_____ P.
15. ロータリー式草刈機	_____ P.
16. エンジン刈払機	_____ P.
17. 電動タイプ刈払機	_____ P.
18. チッパー・シュレッダー	_____ P.
19. 電動タイプチッパー・シュレッダー	_____ P.
20. エンジンヘッジトリマー	_____ P.
21. 電動タイプヘッジトリマー	_____ P.
22. エンジンチェーンソー	_____ P.
23. 電動タイプチェーンソー	_____ P.
24. 薪割機 (エンジン)	_____ P.
25. 薪割機 (モーター)	_____ P.
26. アースオーガ	_____ P.
27. エンジンドリル	_____ P.
28. エンジンポンプ	_____ P.

＜土木建設機械＞ \_\_\_\_\_ P.

29. 油圧ショベル	_____ P.
30. ミニショベル	_____ P.
31. ホイールローダ	_____ P.
32. ミニホイールローダ	_____ P.
33. ブルドーザ	_____ P.
34. スキッドステアローダ	_____ P.
35. 振動ローラ	_____ P.
36. HG振動ローラ	_____ P.
37. プレートコンパクター	_____ P.
38. ランマー	_____ P.
39. コンクリートカッター	_____ P.
40. 投光機	_____ P.

＜荷役・運搬機械＞ \_\_\_\_\_ P.

41. フォークリフト(エンジンタイプ)	_____ P.
42. フォークリフト(バッテリータイプ)	_____ P.
43. 水平搬送車	_____ P.

＜電気機械＞ \_\_\_\_\_ P.

44. ポータブル発電機 (ガソリンタイプ)	_____ P.
45. ポータブル発電機 (ディーゼルタイプ)	_____ P.
46. エンジン溶接機	_____ P.

＜産業機械＞ \_\_\_\_\_ P.

47. エンジンカッター	_____ P.
48. 電動カッター	_____ P.
49. エア・釘打機	_____ P.
50. 移動用コンプレッサー	_____ P.
51. 高所作業車(エンジンタイプ)	_____ P.
52. 高所作業車(バッテリータイプ)	_____ P.
53. エンジンブロワー	_____ P.
54. 電動ブロワー	_____ P.
55. 業務用高圧洗浄機 (電動タイプ)	_____ P.
56. 家庭用高圧洗浄機 (電動タイプ)	_____ P.
57. エンジン式高圧洗浄機	_____ P.

＜その他(レジャー・環境・他)＞ \_\_\_\_\_ P.

58. 電動三、四輪車	_____ P.
59. エンジンタイプリール式芝刈機	_____ P.
60. エンジンタイプロータリー式芝刈機	_____ P.
61. 電動タイプ芝刈機	_____ P.
62. 芝生バリカン	_____ P.
63. 芝生刷新機	_____ P.
64. 乗用ゴルフカート(エンジンタイプ)	_____ P.
65. 乗用ゴルフカート(バッテリータイプ)	_____ P.
66. ATV	_____ P.
67. PWC	_____ P.
68. エンジン船外機	_____ P.
69. 電動船外機	_____ P.
70. 除雪機	_____ P.

III. 世界7ブロック・  
37地域別実績編 \_\_\_\_\_ P.

＜北米＞ \_\_\_\_\_ P.

1. アメリカ	_____ P.
2. カナダ、その他	_____ P.

＜欧州＞ \_\_\_\_\_ P.

3. ロシア	_____ P.
4. ドイツ	_____ P.
5. フランス	_____ P.
6. オランダ	_____ P.
7. スペイン	_____ P.
8. イタリア	_____ P.
9. ウクライナ	_____ P.
10. 欧州その他	_____ P.

＜東南アジア＞ \_\_\_\_\_ P.

11. 日本	_____ P.
12. 中国	_____ P.
13. インド	_____ P.
14. インドネシア	_____ P.
15. ベトナム	_____ P.
16. ミャンマー	_____ P.
17. フィリピン	_____ P.
18. タイ	_____ P.
19. マレーシア	_____ P.
20. 東南アジアその他	_____ P.

＜中近東＞ \_\_\_\_\_ P.

21. UAE	_____ P.
22. イラク	_____ P.
23. イエメン	_____ P.
24. サウジアラビア	_____ P.
25. 中近東その他	_____ P.

＜中南米＞ \_\_\_\_\_ P.

26. ブラジル	_____ P.
27. アルゼンチン	_____ P.
28. ベネズエラ	_____ P.
29. チリ	_____ P.
30. 中南米その他	_____ P.

＜アフリカ＞ \_\_\_\_\_ P.

31. ナイジェリア	_____ P.
32. 南アフリカ	_____ P.
33. アンゴラ	_____ P.
34. エジプト	_____ P.
35. アフリカその他	_____ P.

＜オセアニア＞ \_\_\_\_\_ P.

36. オーストラリア	_____ P.
37. オセアニアその他	_____ P.



# 1. トラクター



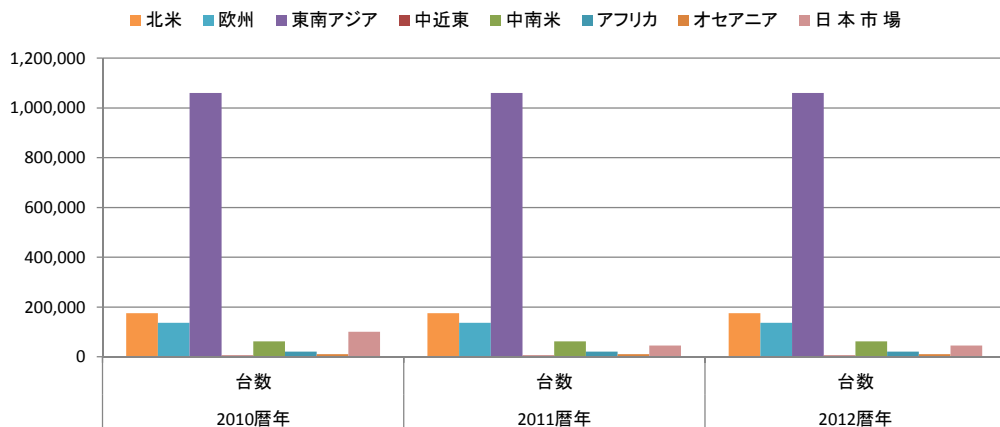
【当該商品に関して】

- 当該項目のトラクターは、農耕用を主体とした乗用エンジンタイプの機械である。
- エンジンはディーゼルが主体となっており、出力で10Pタラスから最大300Pタラスまで幅広いラインナップとなっている。

## 1. 世界ブロック別市場規模及び推移

ブロック	2010 暦年			2011 暦年			2012 暦年		
	台数	構成比	対前年比	台数	構成比	対前年比	台数	構成比	対前年比
北米	175,000	11.2%		175,000	11.6%	100.0%	175,000	11.6%	100.0%
欧州	136,000	8.7%		136,000	9.0%	100.0%	136,000	9.0%	100.0%
東南アジア	1,060,000	67.6%		1,060,000	70.0%	100.0%	1,060,000	70.0%	100.0%
中近東	5,000	0.3%		5,000	0.3%	100.0%	5,000	0.3%	100.0%
中南米	62,000	4.0%		62,000	4.0%	100.0%	62,000	4.0%	100.0%
アフリカ	21,000	1.3%		21,000	1.3%	100.0%	21,000	1.3%	100.0%
オセアニア	10,000	0.6%		10,000	0.6%	100.0%	10,000	0.6%	100.0%
小計	1,469,000	93.6%		1,469,000	93.6%	100.0%	1,469,000	93.6%	100.0%
日本市場	100,000	6.4%		100,000	6.4%	100.0%	100,000	6.4%	100.0%
合計 (世界市場)	1,569,000	100.0%		1,569,000	100.0%	100.0%	1,569,000	100.0%	100.0%

サンプル



- 東南アジアが世界一のビッグ市場であり、2012 暦年は、世界市場全体の70%、を占めている。当該地域は、農業が盛んで、かつ、発展途上の国々が多い為、今後もトラクター導入が進みつつ、市場が着実に成長していく。
- その他地域では、中南米においても導入が進んでおり、潜在需要を考えると、今後の成長は著しいものになると予想される。
- 日本市場に関しては、暦年で対前年比横ばい微減傾向の実績で推移した。これは震災やタイ洪水の影響から需要が伸び悩んだからである。日本市場に関して2011 暦年で対前年比横ばい微減傾向の実績で推移した。これは震災やタイ洪水の影響から需要が伸び悩んだからである。
- 動力源は、ディーゼルエンジンが主体である。日本ではガソリンもあるが、海外では、ディーゼルエンジンが多数あり、そしてガソリンエンジンもあるからである。
- エンジン容量は、1000ccから3000ccまであり、農業関連でも耕作、水田に特化したエンジンがあり、特に、水田に特化したエンジンがあると主として考えられる。
- 今後の世界市場は、右肩上がりに成長する一方で、一部の地域では、衰退するものもあると予想される。

データ：JM調べ

2. 世界地域（国）別市場規模及び推移

	2010暦年								2011暦年								2012暦年							
	合計	ガソリンエンジン			ディーゼルエンジン			電動タイプ	合計	ガソリンエンジン			ディーゼルエンジン			電動タイプ	合計	ガソリンエンジン			ディーゼルエンジン			電動タイプ
		G計	G2	G4	D計	空D	水D			G計	G2	G4	D計	空D	水D			G計	G2	G4	D計	空D	水D	
北米	1 アメリカ	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	2 カナダ、その他	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
欧州	3 ロシア	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	4 ドイツ	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	5 フランス	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	6 オランダ	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	7 スペイン	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	8 イタリア	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	9 ウクライナ	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	10 欧州その他	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	東南アジア	11 日本	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0	
12 中国		0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
13 インド		0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
14 インドネシア		0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
15 ベトナム		0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
16 ミャンマー		0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
17 フィリピン		0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
18 タイ		0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
19 マレーシア		0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
20 東南アジアその他		0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
中近東	21 UAE	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	22 イラク	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	23 イエメン	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	24 サウジアラビア	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	25 中近東その他	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
中南米	26 ブラジル	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	27 アルゼンチン	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	28 ベネズエラ	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	29 チリ	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	30 中南米その他	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
アフリカ	31 ナイジェリア	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	32 南アフリカ	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	33 アンゴラ	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	34 エジプト	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	35 アフリカその他	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
オセアニア	36 オーストラリア	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	37 オセアニアその他	0	0		0			0	0	0		0			0	0	0		0			0		
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			



# 1. アメリカ合衆国 United States of America



主要産業：工業、農林業(小麦、トウモロコシ、大豆、木材)、金融・保険・不動産業、サービス業  
 主要輸出品目：自動車、同部品、半導体、コンピューター関連製品、航空機、電気機器  
 主要輸入品目：自動車および部品、原油、コンピューター関連製品、医薬品、衣料品

通貨：USD (通貨コード: USD)  
 実質経済成長率：2.2% (2012) 世界11位  
 実質GDP：13,593.20 (1億USD: 2012)

面積：9,628.0 (Km<sup>2</sup>)  
 人口：314.18 (10万人: 2012)  
 人口密度：32.63 (人/Km<sup>2</sup>: 2012)  
 就業者数：142.47 (10万人: 2012)

ILO国際労働機関)定義による「月末1週間に1時間でも働いた人」、もしくはOECD経済協力開発機構)定義による「年齢18~64歳で勤労所得または自営所得を有する人」を指す。

失業率：8.08% (2012) 失業率とは、労働力人口(15歳以上)に占める失業者の割合を指す。失業者とは労働年齢にあり、参照期間において職は無いが働く意欲のある者を指す。

名目GDP (USD)

200年	14,291.55	(1億USD)
200年	13,973.65	(1億USD)
201年	14,498.93	(1億USD)
201年	15,075.68	(1億USD)
201年	15,684.75	(1億USD) 世界1位

一人当たりの名目GDP: 49,922.11 (USD: 2012)世界1位  
 購買力平価換算のGDP 世界シェア率) 18.86% 世界1位

※各GDPなどの説明は次ページ右下に記載しております。

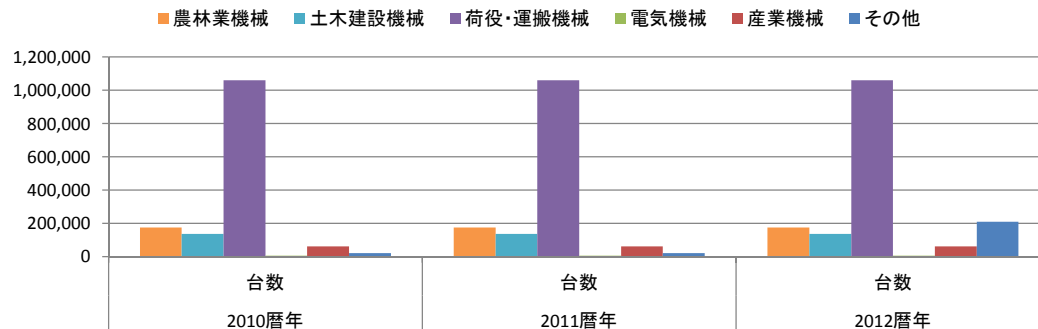
## 1. 汎用機器70品目分野別市場規模及び推移

# サンプル

汎用機器70品目分野	2010年			2011年			2012年		
	台数	構成比	対前年比	台数	構成比	対前年比	台数	構成比	対前年比
農林業機械	175,000	12.0%		175,000	12.0%		175,000	12.0%	
土木建設機械	136,000	9.3%		136,000	9.3%	100.0%	136,000	9.3%	100.0%
荷役・運搬機械	1,060,000	72.7%		1,060,000	72.7%	100.0%	1,060,000	64.3%	100.0%
電気機械	5,000	0.3%		5,000	0.3%	100.0%	5,000	0.3%	100.0%
産業機械	62,000	4.2%		62,000	4.2%	100.0%	62,000	3.8%	100.0%
その他	21,000	1.4%		21,000	1.4%	100.0%	210,000	12.7%	10.0%
70品目合計	1,459,000	100.0%		1,459,000	100.0%	100.0%	1,648,000	100.0%	88.5%

データ：JM調べ

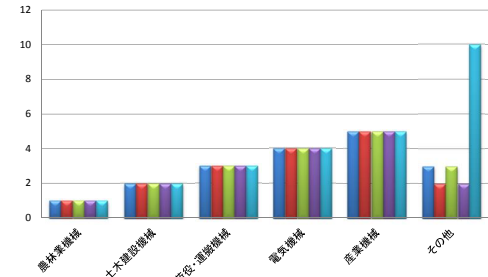
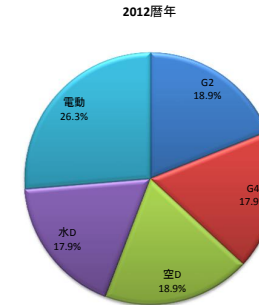
注) 70品目実績内訳は次ページを参照してください



- 2%, 総生産に占める割合ではそれ以下に過ぎない。しかし広大な土地を有し、大規模な農業生産を遂行し、穀物と畜産物を中心とした大規模経営で高い生産性を達成し、穀物と畜産物を中心とした大規模生産国、農産物輸出国となり、世界の食糧事情に大きな影響力を持つ。林業も盛んであったが、環境保護の必要性から生産量は減少している。漁業も広範におこなわれ、特にアラスカ周辺での漁獲量が大い。
- 地下資源は多種多様で、鉱物、化石燃料ともに豊富である。しかし石油は消費量が膨大で、半分を輸入に依存している。世界で生産される石油の4分の1を消費している。
  - 工業は南北戦争後に急速に発展を遂げ、第一次大戦後には世界一の工業国となった。70年代になるとアジアなどからの工業製品の輸入が増え始め、国内の製造業は衰退し、現在では輸入が輸出を6割以上も上回るようになった。この結果、労働人口では20%程度にまで低下している。それでもなお航空宇宙、情報通信、医薬品などのハイテク分野では依然として優位に立っている。
  - 工業にかわって商業とサービス業が成長し、総生産の4分の3を占めるようになった。金融、通信、放送、娯楽、運輸、ソフトウェアなどが特に発達している。

2. 汎用機器7品目別市場規模及び推移

Table with 3 main columns for years 2010, 2011, and 2012. Each year has sub-columns for 'ガソリンエンジン', 'ディーゼルエンジン', and '電動タイプ', further divided into G, G2, G4, D, and Water categories. Includes a 'サンプル' watermark.



以上データ：JIMEX

参考資料

実質経済成長率

経済成長率とは、GDPが前年比でどの程度成長したかを指す。
経済成長率(%)=(当年のGDP÷前年のGDP)-100
実質GDPの変動を実質経済成長率と呼ぶ。

実質GDP

国内総生産(GDP: Gross Domestic Product)とは、国内の生産活動による商品・サービスの生産額から原材料などの中間投入額を控除した付加価値の総額。
実質GDPとは、名目GDPから物価変動の影響を除いたものを指し、生産数量の増減のみを反映する。

名目GDP

国内総生産(GDP: Gross Domestic Product)とは、国内の生産活動による商品・サービスの生産額から原材料などの中間投入額を控除した付加価値の総額。
名目GDPとは、すべての商品・サービスに対し、その年の生産数量に市場価格を掛け算した金額を総計したものである(物価変動の影響を含む)。

一人当たりの名目GDP

国内総生産(GDP: Gross Domestic Product)とは、国内の生産活動による商品・サービスの生産額から原材料などの中間投入額を控除した付加価値の総額。
一人当たりのGDP = GDP / 国の人口
名目GDPとは、すべての商品・サービスに対し、その年の生産数量に市場価格を掛け算した金額を総計したものである(物価変動の影響を含む)。

購買力平価換算のGDP(世界シェア率)

国内総生産(GDP: Gross Domestic Product)とは、国内の生産活動による商品・サービスの生産額から原材料などの中間投入額を控除した付加価値の総額。
購買力平価(PPP: Purchasing Power Parity)とは、「為替レートは自国通貨と外国通貨の購買力の比率によって決まる」という購買力平価説を元に算出された交換比率。各国の物価の違いを修正して比較できるため、より実質的な評価・比較ができると言われている。

以上